

# 令和5年度 心のネットワーク 特別号

## 大松だより

発行日 令和6年3月1日  
徳島市 大松小学校

学校評価に関わるアンケートでは多くの意見をいただき、ありがとうございました。学校で実施した子ども達のアンケートとともに結果のご報告をいたします。今回の結果をもとに、学校評価を行い、保護者の皆様と連携し、来年度からの学校運営に生かしてまいります。今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

### 学校評価結果

学校経営や教育活動に児童や保護者の声を反映するために、アンケート(学校評価)を実施しました。その結果は次のとおりです。

①とてもそう思う ②そう思う ③あまり思わない ④全く思わない  
肯定的回答(①+②) 単位(%)

令和5年度 大松小学校 保護者アンケートから							
①とてもそう思う ②そう思う ③あまり思わない ④全く思わない。肯定的回答〔①+②〕 (%) 昨年度より肯定的回答のポイントが上昇している項目に ↑							
	ことがら	①	②	③	④	肯定的回答	R4
1	学校は、基礎的・基本的な学力が身につくような家庭学習を推進している。	10.4	68.9	20.1	0.6	79.3	89.1
2	学校は、学年に応じてタブレット端末や電子黒板等のICTを活用した学習の推進を図っている。	9.7	62.3	25.6	2.3	72.0	
3	学校は、友達と協力して生活しようとする子どもを育てている。	20.1	70.6	8.7	0.6	90.7	95.2
4	学校は、子どもの人権教育を推進している。	12.6	76.7	9.7	1.0	89.3	90.8
5	子どもたちは、すすんであいさつできている。	11.7	51.8	31.7	4.9	63.5	78.4
6	子どもたちは、交通ルール(飛び出し禁止、青信号の遵守等)を守っている。	12.6	63.8	21.4	2.3	76.4	85.9
7	家庭は、災害時の児童引き渡し(「緊急時引き渡しカード」の使用)方法等に確認できている。	15.5	64.7	19.1	0.6	80.2	↑ 75.5
8	子どもたちは、家族や友達のためになることに取り組んでいる。	13.9	67.3	18.4	0.3	81.2	88.4
9	子どもたちは、思いやりのある言動がとれている。	10.7	71.5	17.5	0.3	82.2	87.8
10	子どもたちは、外で遊んだり、体を動かしたりするなど、運動を楽しんでいる。	24.3	53.1	21.0	1.6	77.4	78.2
11	子どもたちは、好き嫌いなくバランスのよい食事がとれている。	12.6	62.1	21.4	3.9	74.7	↑ 74.4
12	学校は、学校だよりやHP、メール配信等で適切に情報提供を行っている。	19.2	69.8	21.4	1.9	89.0	

令和5年度 大松小学校 児童アンケートから							
①とてもそう思う ②そう思う ③あまり思わない ④全く思わない。肯定的回答〔①+②〕 (%) 昨年度より肯定的回答のポイントが上昇している項目に ↑							
	ことがら	①	②	③	④	肯定的回答	R4
1	学校に来るのが楽しみだ。	54.8	31.6	11.6	1.9	86.4	↑ 85.3
2	ノートやタブレット端末等を用い、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。	35.0	45.7	17.9	1.4	80.7	
3	授業中に先生や友達の話をよく聞いている。	46.9	41.8	10.9	0.5	88.7	89.6
4	授業中に自分の考えをまとめ、友達と伝え合っている。	36.7	38.9	18.8	5.6	75.6	↑ 73.9
5	忘れずに宿題をしている。	62.1	25.8	10.1	1.9	87.9	↑ 79.6
6	自分のよいところや友達のよいところがいえる。	43.5	41.1	11.8	3.6	84.6	↑ 80
7	相手の気持ちを考えていない友達がいいたら注意できる。	40.3	37.2	18.4	4.1	77.5	78.3
8	自分からすすんであいさつができている。	58.2	29.5	11.1	1.2	87.7	↑ 82.5
9	学校のきまりや約束、週目標などを守って生活ができている。	35.7	47.1	15.0	2.2	82.8	84.2
10	道路の右がわ(道路の安全な側)を1列で歩き、道路をわたるときには左右をたしかめている。	41.8	39.4	15.0	3.9	81.2	81.9
11	学級の話合いや、係の仕事、委員会の仕事などに取り組むことができている。	53.6	34.1	11.1	1.2	87.7	88.5
12	自分でめあてをもって、それに向けてがんばることができている。	43.2	33.3	18.4	5.1	76.5	78.1
13	家の人、友達、先生など、周りの人に対して、その人のことを思いやった話し方や行動をしている。	40.1	44.0	14.0	1.9	84.1	85.7
14	道徳の時間に勉強したことを自分の生活に生かすことができている。	38.4	43.2	15.0	3.4	81.6	↑ 81.5
15	外で遊んだり、体を動かしたりすることが好きだ。	65.0	17.4	13.3	4.3	82.4	84.4
16	早寝・早起きをし、朝食を食べて登校できている。	50.7	33.1	12.1	4.1	83.8	↑ 81.7
17	給食では、自分が食べられる量がわかり、バランスよく食べることができている。	47.3	34.1	15.5	3.1	81.4	↑ 73.2

## 令和5年度 徳島市大松小学校 学校評価について アンケート結果から考えられる今後の取組

### 学校目標

「人と自然を大切にし、未来をひらく知恵・心・体をもった子どもの育成」

### 重点目標

- ①確かな学力の育成
- ②豊かな心の育成
- ③健康な心と体の育成
- ④個に応じた特別支援教育・生徒指導
- ⑤保護者・地域から信頼される学校
- ⑥研修の充実と協働体制の強化

### ①確かな学力の育成

- 子どもたちの個性・力の最適化を図ることを目的とし、タブレット端末が児童一人一人に配布され、活用を図っている。そこで今年度、タブレット端末等を利用した学びに関する質問項目を取り入れた。  
「ノートやタブレット端末を用い、自分の考えを深めたり広げたりすることができる」児童の肯定的回答は80.7%だった。一方「学校は、学年に応じてタブレット端末や電気黒板等のICTを活用した学習の推進を図っている」と答えた保護者は72%であった。児童はタブレットを活用し、調べ学習や個別学習に少しずつ慣れてきている。今後は、タブレット端末等のICT機器の活用と、ノートのよさも生かしながら、児童が自主的・主体的に学習に取り組む授業改善や考えをさらに深める授業づくりを行う。
- 「授業中に先生や友達の話をよく聞いている」と答えた児童は昨年度より減少したが、目標値の80%は達成し、88.7%であった。このことから、児童が真面目に授業に取り組んでいることがうかがえる。しかし、「授業中に自分の考えをまとめ、友達と伝え合っている」児童は75.6%であった。発言を引き出す発問や意思表示させる手立て、タブレットを用いた発表等、段階的で多様な指導を試みたい。
- 家庭学習について、「忘れずに宿題をしている」児童は87.9%であった。しかし「基礎的・基本的な学力が身につくような家庭学習をしている」という保護者の回答は79.3%であった。基礎学力の定着を図るためにも宿題や家庭学習の重要性を校内で共通理解し、学年に応じた宿題の内容と量について検討したい。

### ②豊かな心の育成

- 「自分もまわりの人も大切にする子ども」を育てようと人権学習に取り組み、徳島市・名東郡小学校人権教育研究大会の本年度の会場校として全学年で授業を公開した。  
各学級においては、帰りの会で友達にしてもらってうれしかったことや友達の頑張っていたことを発表したり、見つけたよいところをカードに記入し掲示したりすることで、「自分や友達のよいところがいえる」と答えた児童の割合は、昨年度より増加した。しかし、「相手の気持ちを考えていない児童がいたら注意できる」児童は、昨年度より0.8%減少した。今後は、児童の好ましい行動を認め、価値付けを行うことで、児童全体が高まっていく指導をしていきたい。

- あいさつについては、「自分からすすんであいさつができています」児童は82.5%、「子どもたちはすすんであいさつができています」と答えた保護者は78.4%であった。今年度、玄関に、あいさつをして気持ちよかったことや、あいさつされてうれしかったことなどを書いたカードを書き、「あいさつの木」として掲示し、意識付けを図ったが、目標達成には至らなかった。保護者の方からも「立哨していても自分からあいさつしてくれる子が少ない。」「立哨時、近所の方から『最近、大松の子はあいさつしなくなった』と言われた。あいさつしても返事のない児童が増えたと感じる。」という意見をいただいた。今後は、児童会運営委員会で積極的にあいさつをするような働きかけを行ったり、学級であいさつへの意識付けを行ったりするなど、粘り強く指導していきたい。
- 本校は「場に応じた適切な言葉遣いと相手を思いやる言動がとれる児童」の育成を目指している。「家の人や友達、先生など周りの人に対して思いやりのある言動がとれている」と肯定的回答をした児童は84.1%であったが、「子どもたちは思いやりのある言動がとれている」と答えた保護者は82.2%であり、昨年度より5.6%減少した。児童の会話の中には、気になる言葉遣いもある。ふさわしくない言動をしている児童にはその場での指導をしていきたい。何より、まずは教職員が相手を大切に、丁寧な言葉遣いを心がけ、児童一人一人を大切にしていけることを再確認し、実践していく。

### ③健康な心と体の育成

- 運動する児童とそうでない児童の二極化の傾向は依然として改善されていない。スマホやインターネット、ゲームの普及による影響も大きいと思われる。身体面だけでなく、社会性を身に付けたり、認知能力を高めるためにも、体を動かすことは大切である。体育の授業や外遊びで運動の楽しさを体感させるとともに、家庭への啓発もしていきたい。
- 「早寝・早起きをし、朝食を食べて登校できている」児童は83.3%である。しかし、学年が上がるごとにICT機器の使用時間が増え、就寝時間が遅くなる傾向がある。今年度、保護者の方にも協力をいただき、生活チェックを2回実施し、学校保健委員会では、望ましい生活習慣についての話を聞き、自分の生活を振り返った。今後は、保健だよりや個別の保健指導等を通し、児童や家庭に啓発・発信していく。
- 「給食をバランスよく、残さず食べることができている」児童は81.4%であった。給食は年齢に応じた量を提供してくれており、適した量を食することが大切であることを学級で確認した。毎年、2・4・6年生では、徳島市の事業「食育パワーアップ作戦」を実施している。今後は好き嫌いせず、バランスのよい食事の大切さを継続して児童に指導していく。

### ④保護者・地域から信頼される学校

- 「学校に来るのが楽しい」と答えた児童は、昨年度より1.1%上昇し、86.4%であった。しかし、目標値は90%である。今後は、ICT機器も活用しながら個に応じた指導の実現、温かい学級づくりを基盤とし、日々の観察やアンケート等からみられる課題に対し、保護者や地域の方、関係諸機関と協力し、チームとして対応していく。
- 自然災害等の緊急事態発生時の対応として、今年度も勝占認定こども園と合同で避難訓練を実施した。また、今年度初めて、児童の緊急時引き渡し訓練も行った。実施することで課題も明らかになった。スムーズな引き渡しができるよりよい方法を検討すると共に、教師が不在時の避難等、児童自身が判断し行動できるよう様々な状況を想定した訓練を実施していく。
- 保護者の方による毎朝の立哨や夏休みの校区内パトロール、地域の方の見守りのおかげで大きな事故はなかった。しかし、「交通マナーが悪い」「数人が道に広がって歩いている」等のご意見を何件かいただいた。交通安全指導を徹底していくとともに、様々な学習や活動を通し、命を大切にする児童を育てていきたい。